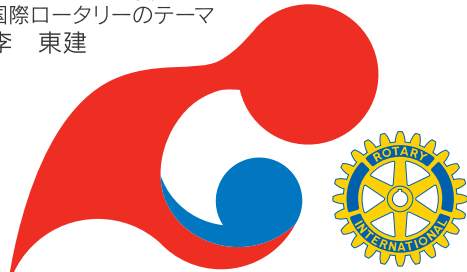


2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ
李 東建



Make Dreams Real
夢をかたちに

会長／齋藤清蔵 幹事／遠藤光一

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2008▶2009 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

出席と参加、親睦と奉仕の 意識を高め地域に奉仕

プログラム

●本日
卓話「裁判所ってこんなところですよ…」
旭川地方・家庭裁判所留萌支部 書記官 岩佐 真美様

会員誕生日
3月14日 遠藤 光一

●次週予定
会員研修夜間例会／平間達也会員送別会

結婚記念日
3月13日 平井 誠治
3月15日 西谷 恭治

No. 2365

第33回 3月11日



前例会

会員総数……………43名
出免会員……………4名
出免出席……………2名
出席会員……………32名
出席率……………78.05%

前々会

第30回 2月18日

出席会員……………43名
メイクアップ……………0名
修正出席率……………100%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

会長報告 ……………

○ 昨日第9回定例理事会を開催し、2月末の会計収支報告、3～5月のプログラムを承認しました。また、今回皆様には残念な知らせがございます。平間会員が転勤により、3月18日をもってクラブを退会する事になりました。それにより職業奉仕副委員長の清水会員を職業奉仕委員長に昇格し、理事とする事を理事会にて決定しました。

した。

- 3) ロータリーの友3月号を受領、本日配付しました。
- 4) 深川RC、芦別RC、砂川RC、妹背牛RCより3月例会の案内を受領しました。
- 5) 萌っこ春待里実行委員会より礼状が届いております。

会報受領先

- ・深川RC No2435号～No2438号
- ・芦別RC No2484号～No2487号
- ・妹背牛RC No2028号

幹事報告 ……………

- 1) 次年度ガバナーエレクト事務所より2009～2010年度地区協議会開催に案内が届いております。対馬会長エレクトにお渡しします。
- 2) ガバナー月信3月号を受領、本日配付しま

ゲスト

留萌市健康福祉部 部長 岩崎 智樹様
留萌市保健医療課
保健医療係長 高橋 一浩様

第32回 3月4日(水) 天候/曇

国際ロータリー第2510地区

第1グループガバナー補佐 大西 道祥様

ビジター

国際ロータリー第2510地区第1グループ

ガバナー補佐室長 大西 祥太様

深川ロータリークラブ会長 渋谷 賢治様

IM・深川RC50周年大会幹事 中 公一郎様

委員会報告

次年度ガバナー補佐

田中会員

2月28日～3月1日砂川市において次年度の地区研修セミナーがあり参加して参りました。チームリーダー、会長エレクト、財団米山のセミナーがあり、対馬会長エレクト、大嶋国際奉仕委員長さんと一緒に参加でした。留萌クラブ関係では平成22年4月2日にスウェーデンよりGSEメンバー5名(内1名ロータリアン)が参ります。4月2日の金曜日ですが到着時間によっては、千歳もしくは札幌のホテルにて土曜日にオリエンテーションがございます。詳しい日程は今年の10月にならないとわかりません。日曜日は基本的に休養日ですので、月曜日の移動になると思いますが、今回は第1、第2グループ合同受け入れとなります。留萌クラブと滝川クラブです。プログラムについては地区の委員会ですべて取り仕切りますので、今の段階ではわかりません。今回地区大会に合致しませんので、第1第2グループのIMと第5グループのIMに是非参加させてほしいとの地区GSE委員会の希望がありました。留萌クラブがしなければならないのは、コーディネーターの選出とホームステイの決定です。コーディネーターは西谷英樹会員が快く引き受けて頂きました。またホームステイは対馬会長エレクト、二ノ宮副会長、そして私と3名は決定しておりますが、あと1名必要です。ロータリアンは光風館さんにお願いますので、だれか引き受けていただければと思います。これにつきましては男女、職業もまだ分かりませんので、案内が着た段階で皆様にお知らせしたいと思いま

す。IMは第5グループの札幌清田RCのガバナー補佐さんが、5月1日にGSEのメンバーが日本から帰国しますので、その前の4月29日あたりという事ですので、第1グループは4月11日頃の予定となります。昔のGSEの時の予算は50万円位でしたが、今回は地区からの予算は8万円で滝川と折半ですので、かなり厳しくしなければなりません。登録料は従来通りで、食べものを弁当と缶ビール位にしようと思っております。皆様のご理解とご協力をお願いします。



3分間情報

会員研修委員会

清水委員

「CLPの経緯」

現在、世界のRCでは会員数が20名以下のクラブが約20%に達しています。会員数が少ないことから、クラブの活動が停滞し苦慮しているクラブも数多く出てきました。

日本でも平均的なクラブ会員数は40名程度ですが、それでも従来の「推奨ロータリー・クラブ細則」をそのまま適用すると、1会員が複数の委員会を掛け持ちして所属することになります。このため、効果的に委員会活動が低調になるとして、委員会構成を見直す必要が出てきました。

こうした状況を改革する為に、2000年9月にRIリーダーシップ開発研修委員会で検討することになり、これは現在のクラブ常任委員会組織では小さなクラブほど重荷となっているとの事からであります。そこで新しいクラブ組織の骨格として常任委員会は5つだけという簡素化された委員会組織を提案しました。

2002年2月、RI理事会では原則としてCLPを承認し、クラブでテストされることを要請しました。2004年11月、RI理事会はCLPを承認し、18委員会から5委員会に抑える事になりました。これによって、小さなクラブでも5つの常任委員会を設置すれば、クラブ運営は可能になりました。なお、クラブは細則の改正とそれに伴うプランの実施を推奨されていますが、

義務付けられているわけではありません。

ニコニコBOX

- ・ 深川RCより大西ガバナー補佐、渋谷会長、大西ガバナー補佐室長、中50周年・IM実行幹事さんのご訪問を歓迎します 齋藤会長
- ・ クラブ訪問します 大西ガバナー補佐
- ・ 留萌RCの皆様今後共よろしく

渋谷深川RC会長

- ・ 2月28日～3月1日まで会長エレクト研修セミナーに出席してきました 対馬エレクト
- ・ いちばんかん長い間ご利用ありがとうございました 関野会員

前 回	520,500円
今 回	24,000円
累 計	544,500円

プログラム

コホートピア構想について

留萌市保健福祉部

部長 岩崎 智樹様

本日は留萌ロータリークラブの例会にお呼び戴きありがとうございます。本来であれば札幌医大の小海先生が皆様の前で卓話をする予定でしたが急な会議が入り、ピンチヒッターで私がお話をする事になりました。ただ私も1時より緊急部長会議が入りましたので、少し忙しいですがお話をさせていただきます。

コホートピアとは、コホート(前向きな医学研究)とユートピア(理想郷)を組み合わせた新語でございます。これは医学研究を留萌の地に誘致することで、理想的な医療環境を構築しようとする試みとなっています。

我が国の平均寿命は生活環境の改善と医学の進歩によって急速に延伸し、世界有数の長寿国となりました。しかし、人口の急速な高齢化と共に生活習慣病及びこれらに起因する認知症、寝たきり等の要介護状態になる比率の増加は深刻な社会問題となっております。国もこの様な高齢化及び疾病構造の変化に対応するべく、す

べての国民が健やかで心豊かな生活が出来るような社会を目指して、これまでの発病・治療・機能維持等の取り組みから、生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病を予防する事に重点を置いた対策を推進し、壮年期死亡の減少および健康で自立して暮らす事の出来る期間を延伸することが重要としています。しかしながら、地方都市の医療は医師・看護師不足、診療報酬のマイナス改訂等により厳しい状況が続いております。特に留萌地域の医療の根幹となる留萌市立病院も皆様ご存じの通り経営が逼迫し、多額の不良債務を抱え市の財政再建にも大きな影響を及ぼしており、留萌地域の医療は崩壊の危機にさらされております。この様な状況の中で何とか医療危機という課題を軽減する事が出来ないかという事で、臨床医学研究という新たな試みの中で、道内医育大学の研究者により「留萌コホートピア構想」が提唱された訳であります。留萌市を中心とする留萌管内の地域住民の協力を得て、健診活動の推進により集団を長期にわたり観察・介入研究する日本最大のコホート医学研究フィールドを樹立し、市民に健康と安心を提供しながら医師、大学、企業に対する情報発信により魅力ある研究を誘致し、地元産業の育成・創出に繋げ、地域の活性化を図ろうとする取り組みが検討され始めたところあります。

そもそもこの話は、昨年の春先に3つの大学の先生達が集まり留萌においてコホート研究をしたいとの事から始まりました。旭川医科大学と札幌医科大学、そして北海道大学医学部の先生方です。留萌市は平成17年に健康都市宣言のまちとして名乗りをあげましたが、これらの留萌コホートピア構想の趣旨に賛同し、北海道の支援も受けながら第5次留萌市総合計画の基本戦略でもある、健康の維持と増進、安心できる地域医療の充実、地域産業の育成と支援の各施策と連携を図り、産学官一体となって市民の健康づくり、健康長寿のまちづくりを目指しております。コホートピアの基本目標は「健診はあなたを守り、地域を守り、未来を拓く」を掲げています。またコホートピア構想の目的は4



つあり、コホート研究(医学研究)、市立病院の再生、地域産業の育成と新分野産業の創出、市民の健康づくりの推進です。コホート研究(医学研究は、住民の同意を得ながら、健診活動、留萌発メタボリック健診等を通じて協力いただいた検体をベースに、住民の健康状態を長期に亘り観察、追跡するのがコホート研究です。協力いただいた情報は留萌市と倫理委員会が安全かつ適切に収集管理し、医学研究にとって価値のあるデータベースを作成し、疫病予防・診断のためのバイオマーカーに価値のある「市民の知的財産」として保存します。この長期間の医療記録、情報が保存されたデータは、疫病予防や早期診断などの個別研究に非常に有用なデータであり、留萌で得られたデータが市場価値を生み出しさらに医療機器メーカーや製薬会社との共同研究により、これらの研究利益や契約金やライセンス料の還元という形で、留萌市民の健康増進活動に大きな恩恵をもたらします。また、コホート研究に参加することにより、健診活動を通じて自らの健康状態が把握でき、保健医療関係者などとのコミュニケーションを通じて健康相談や生活習慣病予防への取り組みが進み、市民の健康の輪が広がります。市立病院の再生では、コホートピア構想を進めることにより、市民の手で医学研究を誘致し、医師や看護師にとって魅力的な環境を作りながら医師確保に繋げ、地域医療の再生を図っていきます。次に、地域産業の育成と新分野産業の創出として、コホートピアでは医療を中心としたバイオ産業の誘致・創出、新規起業支援に向けた人材の確保と育成、また、地域の新鮮な食材や優れた加

工製品を活用し、機能性を高めブランドアップを図っていくなど、新分野産業について間接的、直接的な活動を通じて地域経済の活性化を目指していきます。また留萌市が進めるヘルスツーリズムに、医療の面からアプローチし、医学的な根拠付けとコホート研究から得られたデータ解析に基づく機能性食品、健康食品の提供、アンチエイジングツアーの提案など、コホートピアのサテライトプロジェクトとして留萌市の観光施策と連携を図るとしています。4つめの市民の健康づくりの推進では、留萌市の健診受診率は全国・全道平均からみてもかなり低く、平成20年から始まった特定健診受診率では、まだ20%弱でございます。これを25~35%と上げていき、65%まで受診率を上げなければなりません。これは国の国保会計に入る助成金と言いますか、交付金が65%に達しなければ減額され、それを超えれば増額されますので、国保会計にしてみれば大きな事になります。また、国保医療費の4割近くが生活習慣病が原因となっている現状からも昨年度から行なっている特定検診の受診率を向上させる事に重点を置き、医師、看護師、保健師等による健康講座や健康相談の開催を進めていきます。

この活動拠点として、るもい健康の駅(仮称)があります。これは北海道の持ち物でした萌明荘を活用するもので、そこでこの健康講座や健康相談、健康を通じた交流、コミュニケーションなどの機会を提供するものです。勿論医学的健康チェックなどの機器もあり、健康に対する意識を高める場としての利用を考えています。

コホートピア構想の推進体制は産学官で進められますが、産とはNPO法人るもいコホートピア、医療健康産業、地場産業と考えており、学はコホートピア推進機構として道内の3つの体育大学であり、官は留萌市、留萌支庁、北海道であります。

留萌市にははーとふるがありますが、このるもい健康の駅との違いは事業展開が若干変わってくると思います。はーとふるは行政サイドの法律に基づいた事業展開をしていきますが、健康の駅では民間が主体となった産学官で事業展

開を図っていきますので、自由な考えを持った利用法が考えられると思います。

いつも市民の皆様にご協賛いただきありがとうございます。説明すると解かりづらいと言われる。どの様に説明すればと思いますが、NPO法人はまだ出来ていません。現在準備中でございます、留萌支庁の方にNPO法人の認証の申請を行なっている所でございます。多分5月位にはNPO法人の設立が出来るとかと思っております。このNPO法人が事業をしていく主体になります。もう一つありますのがコホートピア推進機構というものがあります。実はこれがコホートピアを行なう事を決めた所でございます。参加メンバーは、3つの医育大学(北大医学部、札幌医大、旭川医大)と留萌支庁長、留萌市長、留萌副市長、留萌保健福祉部長(保健所長)、留萌医師会と留萌市立病院という形でこのコホートピア推進機構が構成されています。そしてこの推進機構は中心となってNPO法人の設立に協力しています。NPO法人の現実的な管理はこの推進機構が行い、どの様にコホートピアを運営していくのかを話し合う場でもあります。そして実践をしていくのがNPO法人となり、今後民間も交えて設立されます。留萌市の中にも4月よりコホートピア推進室が作られまして、これがNPO法人とどう連携していくのか、新しい発想で国、企業等への事業提案や各関係機関とのコーディネートを受け持ちます。

以上雑駁で申し訳ございませんが、この辺で終わらせていただきます。ありがとうございました。

＝ご挨拶＝

大西ガバナー補佐

今回訪問させていただきましたのは、深川で開催しますIMと深川クラブの50周年記念式典のお願いで参りました。また、矢橋ガバナーより10月24日～25日に開催した地区大会での懇親会がすこぶる不評をかった事に対し、各クラブに行き謝って下さいとの事でしたので、訪問させて頂きました。会場が暗い等の不満があったようで、ガバナーに代わり深くお詫びいたします。



また、次年度の地区大会での表彰関係ですが、各クラブ挙げて応募して欲しいとの事でした。ガバナーが地区目標としている会員増強ですが、各クラブ純増1名しようと言っております。ガバナー補佐も会員増強委員会の委員ですので、何とか1名でも多くの会員を増やそうと思っておりますので、留萌クラブさんも会員増強をお願いします。

ガバナー補佐として留萌クラブを訪問し、会報等を拝見致しますと、留萌クラブは大変良く活動をされていると思います。第1グループの模範となるクラブだと思います。この後クラブ会長とIM・50周年の幹事の話があると思いますので、宜しくお願いします。

渋谷深川RC会長

ガバナー補佐の公式訪問に同行して参りました。留萌クラブに来るのを楽しみにしておりました。



私が入会して3年ほどした時、当クラブの富山先生がガバナーとして大変ご活躍されましたが、これをホストとして支えた留萌クラブの皆さんの奉仕の水準の高さ、またアクティブな活動は、やはり第1グループを率先して引っ張っていくクラブだと思います。今から10年～11年前の深川RC40周年

第32回 3月4日(水) 天候/曇

の前の年、平井誠治会員がガバナー補佐の年に今回のようにGSEの取り組みをし、クラブ活動の質の高さに大変敬意を表するところでした。大変驚いたものでした。

昨年の今ごろ、会長研修会で留萌の斎藤会長と初めてお会いし、その後地区協議会、会員増強セミナー、滝川RCの50周年の式典でもお会いする度にその笑顔とそのバイタリティーが、これこそ留萌RCの現在の理想のリーダーの像なのだと思いました。月に1度留萌クラブより送られてくる会報を拝読させて戴いておりますが、先程の3分間情報の水準の高さ、各奉仕部門の活動が非常に豊富で、例会プログラムも水準の高いものと思います。深川クラブもこれに見習い今後共ご指導をお願いします。留萌クラブも二ノ宮副会長さんが会長になられる時に50周年を迎えられるそうで、我々のクラブも今年度50周年を迎えます。ささやかではありますが、5月17日に深川RC創立50周年記念式典を開催させて戴きます。

今年度のRI会長李東建会長は今年度のテーマを「夢をかたちに」としましたが、深川RCの夢は「この50周年を迎え、先人の足跡を尊びそして、次世代に繋げる」という意気込みで会員全員で準備に取り掛かっている処でございます。ロータリーの活動は私たちの経験から学ぶものではなく、あくまでその歴史から学ぶものであると、私は入会以来先輩から教育されております。どうか皆さんで夢をかたちにして戴きたいと思います。

IM・50周年は会員減少や予算の面からもなかなか盛大には出来ないかもしれませんが、精一杯の思いやりとおもてなしをしたいと思いますので、皆様のご理解をおねがいます。是非皆さんでIM・50周年が行なわれる5月17日にお越し頂ける事を願っております。

中IM・50周年実行委員会幹事

今年度のIMは、深川RC創立50周年と合体で平成21年5月17日(日)に深川にて開催いたします。IMテーマは「クラブ活力の再生・手到手四つのテストで連携を」とし、現状のロータ

リーで抱えている問題等を情報交換しながら勉強したいと考えています。タイムスケジュールでは、12時登録開始、12時



30分点鐘で、セレモニーの後の記念講演を丸山バスターガバナーにお願いしており、これは約50分の予定です。その後、当クラブの渋谷会長に司会をお願いし、クラブ会長さんによるデスクッション・タイムとして1時間取っております。その後矢橋ガバナーの総評をいただきIMは終了します。昼が早いので簡単な昼食を用意しております。その間に会長幹事も開催されます。

IM終了後、50周年記念式典を開催、その後IM・50周年記念懇親会を開催、総て終了するのが午後6時の予定です。今回は少し変わっていて、IMと50周年記念式典との合体ですので、少しでも多くの登録をお待ちしております。後ほど案内状をお届け致しますので宜しくお願いします。